



PHASE2 突入!!
S660
STREET チューン

OPTION

編集部
責任編集!!

SAN-EI MOOK

ULTIMATE 660GT WORLD Vol.7
2023年8月31日発行

ULTIMATE 660 WORLD **GT**

Vol.7



現役続行!! 我らビート仲間



キャブチューンが楽しい!
**昭和の
旧車改**



筑波で暴れる
ハイパージムニー



バッチリ走れる!!
**ちょい悪
新コペン**

走快で
軽快

手
軽
な
N
A
に
萌
え
る
!!

役立つ

チパ
エ
ツ
ン
&
情
報
満
載



ドリフト上等!
FRの旧コペン3連星



web option
EXCITING CAR WEB MAGAZINE



※シートポジション高の計測法はブリッド社内測定基準に基づいたものです。

リクライニングバケットシート

BRIDE DIGOⅢ LIGHT [Color: グラデーションロゴBE]



装着例(使用レール: MO)
ポジション高
ノーマル比 約-10mm

コンパクトで普段使いも快適
高バランスなスポーティモデル



DIGOⅢ LIGHT (ディーゴスリーライト)は、脇腹部分のみサポート形状を持たせたコンパクトな設計のリクライニングバケットシート。アルトへのリクライニングバケット装着でポジションを低くしたい場合はこのモデルを推奨とする。上半身を脇腹部分で挟み込んで支える方式は見た目よりホールド性が高い。座面はフラットに近く、純正シートと同じ感覚で乗降できる。シートヒーター付きの選択も可能。

フルバケットシート

BRIDE XERO VS [Color: BLACK]



装着例(使用レール: FG)
ポジション高
ノーマル比 約-60mm

ストリートに必要な
ホールド性と乗降性を両立



XERO VS (ゼロブイエス)はショルダーサポートの横幅や座面サイドサポートの高さをコンパクトに設計したフルバケットシート。アルトへのフルバケットシートの装着はこのモデルを推奨している。サイド部分にはキルティング加工(レッドカラーは除く)を施し、身体へのフィット感を高めている。レールの選択肢はFOタイプもあるが、FGタイプと比べるとポジションのダウン量が1/2程度となる。

フルバケットシート(2シーター専用)

BRIDE A.i.R. [Color: BLACK/RED]



装着例(使用レール: LF)
ポジション高
ノーマル比 約-30mm

ヘッドクリアランスも広く取れる
スリムでコンパクトな2シーター専用設計



A.i.R. (エア)は、フォーミュラドライビングポジションのようなバックレスト形状で、乗降を意識して大胆に座面サイドサポートを浅く設計した2シーター専用のフルバケットシート。S660へのフルバケットシートの装着で、アイポイントを下し、楽に乗降したい場合はこのモデルを推奨している。後方へのスライド量を大きく取った場合、バックレスト後面が室内に干渉するため制限が入るが、高身長でない限りは好みのドライビングポジションを取ることが可能。

フルバケットシート

BRIDE XERO VS [Color: BLACK]



装着例(使用レール: LF)
ポジション高
ノーマル比 約-30mm

ホールド性を重視するなら
こちらのシートを選択



XERO VS (ゼロブイエス)はショルダーサポートの横幅や座面サイドサポートの高さをコンパクトに設計したフルバケットシート。S660へのフルバケットシート装着でホールド性を求める場合にはこのモデルを推奨する。幌のフレームに対してシートのヘッドガードが干渉してしまうため、後方へのシートスライドに制限が入るが、高身長でない限りは、問題なく好みのドライビングポジションを取ることが可能。

SAMPLE車両
アルトターボRS [HA36S]

純正シート空間



アルトは4人乗りということもあり、軽自動車の中では室内空間に比較的余裕がある車両。ただし左右幅の制限は大きく、ドアとサイドサポートのクリアランスが取りにくい傾向にある。また、純正は着座ポジションが高く、スポーツ走行用には少し座面を低くしたいと思うユーザーが多いだろう。ちなみに、サンプルのターボRSの純正シートはワークスの純正レカロより3cmもポジションが低い。

SAMPLE車両
S660 [JW5]

純正シート空間



軽規格のミッドシップ2シータースポーツということで、室内のタイトさを象徴するKカーの代表格。こういった狭小ドライビング空間となる小型車に対してこそ、ブリッドでは積極的な開発やデータ収集を行っている。そしてしっかりと設計上の制約をクリア、複数のモデルをフィットさせている。

K-Parts EXPRESS
#1 DRIVING SEAT

室内空間がタイトなK-carに
快適にフィットさせるシート選び



ラゲッジ空間に大きめの荷物を積もうとすれば一目瞭然だし、その空間的な制約はドライバーベースにも現れる。そのようなKカーにスポーツシートを装着する際は、ハン



Kカーの特徴の一つであるコンパクトで取り回しのいいボディサイズ。ところが、このコンパクトなボディ規格の中に構築された室内空間は非常にタイトというが、普通車に比べるとかなり狭い。

シートレールにもブリッドの高い技術とノウハウが盛り込まれる!!

LOWMAX
シリーズ

**シート(アイ)ポジションを下げ
ステアリングセンターオフセットを最適化**

リクライニングバケットシート用
ローマックスシステム対応
シートレール [LR]

フルバケットシート用
ローマックスシステム対応
シートレール [LF]



スポーツシートを車両へ装着する際
に必要なシートレール。車両のフロア形状に応じた専用設計品となっており、設定がない場合はシートを交換することができない。そして、座席スペースの制約やポジションが下げられるかなど、測定データから判断してシートの取り付け方法にあったタイプを設定している。

また、座席スペースが狭い一部の車両にはブリッドの特許技術であるLOWMAXシステムで設計したシートレールを設定、LOWMAXシステム構造のシートと組み合わせることで、ハンドルのセンター位置からシートのオフセットがない状態(車両によっては可能な範囲でオフセットを減らす)でシート装着ができるよう、独自性をもった製品開発を行っている。

さらに、安全性が求められる製品のため、保安基準に適合させるための強度試験をシートとシートレールを組み合わせた座席状態で実施する。このようにユーザーが安心して使用できるように、様々な準備とテストを重ね製品化が進められる。

ドルのセンター位置からシートのオフセット(左右へのズレ)があるか? また、限られたスペースに収まるよう、ショルダーサポートの横幅や、座面のサイドサポート高がコンパクトに設計されたシートの設定があるか? という選択肢の確認が重要となる。

国産スポーツシートメーカーの代表格であるブリッドでは、車両のフロア形状や座席スペースの測定を行ない、可能な限り交換後のシートがオフセットしないようシートレールを設計する。また、サポート形状を大きく設計したシートから、逆にコンパクトな車両向けにサポート形状を小さく設計したシートまで、幅広いラインアップを用意する。

シートは車両ごとの専用設計ではないため、シートとシートレールの組み合わせにより座席スペースのクリアランスが大きく異なることへの注意も必要。また、座席スペースが狭い一部の車両にはブリッドの特許技術であるLOWMAXシステム専用のシートレールを設定しており、LOWMAXシステム専用のシートと組み合わせることで車両への装着を可能としているのも注目ポイントとなる。

というわけで、ここではKスポーツの代表格と言えるアルト(ターボRS)とS660を用意していただき、タイトな室内空間へのシートのフィット感について事例を見せてもらったので紹介していきます。



Racing & Stylish



HONDA S660なら、 ジータⅣ、 ストラディアⅢ。

様々なモータースポーツで鍛えられた新世代スタンダードフルバケットシートの最高峰ジータⅣは、
ホールド性能が高いだけでなく、左右にオフセットしない着座位置が得られ、
S660の純正シートに対して30ミリのローダウンとなる。
リクライニングシートにこだわるのなら、
新世代アクティブコンフォートシートのストラディアⅢをお薦めする。



ブリッド&エディルプの最新カタログ、
無料で差し上げます。

住所・氏名・年齢・電話番号・現在お乗りの車種名・車種型式・雑誌名をご記入のうえ、
ハガキにてブリッド株式会社カタログ請求係までお申し込みください。
ファクス、ホームページからも請求できますので、どうぞ、お気軽にお申し込みください。



BRIDE SUPER SEAT
BRIDE CO., LTD.

ブリッド株式会社 BRIDE CO.は、
ブリッド株式会社の登録商標です。

〒476-0015 愛知県東海市東海町1丁目11番1号

電話.(052)689-2611 ファクス.(052)689-2612

※掲載製品の仕様・デザイン・価格等の変更及び、

販売終了を予告なく行う場合がありますので、予めご了承ください。



HONDA S660 & ZETA IV

写真は、ホンダ・S660の運転席、助手席ともにZETAⅣ・FRP製シルバースhell・ブラック(HA1ASF)を装着したものです。

写真は、ホンダ・S660の運転席、助手席ともに
ZETAⅣ・FRP製シルバースhell・
ブラック(HA1ASF)を装着したものです。

スタンダードフルバケットの最高峰ZETAが
LOW MAX仕様に進化、
新世代スタンダードフルバケット、ジータⅣ。

ZETAⅣ

¥123,200～¥181,500(税込)

- FRP製シルバースhell/スーパーアラミド製ブラックシェル
- 全3色(グラデーションロゴ/ブラック/レッド)
- 燃焼生地 ●保安基準適合モデル ●FIA規格取得モデル ●日本製
- 着座センサー搭載(座面部) ※車種によっては、対応できない場合があります。
- FRP製重量:約7.4kg/スーパーアラミド製重量:約7.4kg(参考数値)

Low MAX (燃焼生地) 抗菌(除菌・脱臭)対応の安心仕様

車検もOK!

FRP製シルバースhell

スーパーアラミド製ブラックシェル

FIA APPROVED

FIA APPROVED



写真のモデルは、
ZETAⅣ・FRP製シルバースhell・
ブラック(HA1ASF)です。

S660(JW5)適合シートレール/
●シートレール右席:H051LP ¥26,400(税込) ※純正座面比最大-30mm

●シートレール左席:H052LP ¥26,400(税込)

※サイドエアバッグ装着車の場合、サイドエアバッグキャンセラー-2.0Q:
AS1NPO ¥1,650(税込)が必要です。

※シートレールとシートレールとの間にシートレールが当たる程度～10ミリ前後干渉(シート位置や角度などで条件は異なります。)

※S660専用着席シフトレール(シフトレールがシフトレールに当たる)を装着の場合、シート位置や角度などの条件によりスピーカーとヘッドレストが干渉します。

リクライニング機構付バケットが更なる進化。
剛性・強度に加えコンフォート性も高めた
新世代アクティブコンフォート、ストラディアⅢ。

STRADIAⅢ

¥220,000～¥280,500(税込)

- スチールフレーム ●FRP製シルバースhell/スーパーアラミド製ブラックシェル
- 全3色(グラデーションロゴ/ブラック/レッド) ●燃焼生地
- スタンダードクッション/ロークッション ●保安基準適合モデル ●日本製
- 着座センサー搭載(座面部) ※車種によっては、対応できない場合があります。
- FRP製重量:約14.0kg/スーパーアラミド製重量:約14.0kg(参考数値)

Low MAX (燃焼生地) 抗菌(除菌・脱臭)対応の安心仕様

車検もOK!

FRP製シルバースhell

スーパーアラミド製ブラックシェル

FIA APPROVED

FIA APPROVED



写真のモデルは、
STRADIAⅢ(スタンダードクッション)・
スーパーアラミド製
ブラックシェル・レッド(G71BRS)です。

S660(JW5)適合シートレール/
●シートレール右席:H051LR ¥23,650(税込) ※純正座面比最大-30mm

●シートレール左席:H052LR ¥23,650(税込)

※サイドエアバッグ装着車の場合、サイドエアバッグキャンセラー-2.0Q:
AS1NPO ¥1,650(税込)が必要です。